

# 科目区分：自然科学科目

授業科目名	生物の科学（熱帯の環境, ヒト, 微生物 熱帯病へのアプローチ）				学期	曜日	校時
英語名	Biological Science (Environment, Human, Microorganisms in the Tropics: Approach to Tropical Diseases)						
担当 教員名	上村 春樹 栗林 太 松山 章子	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期 金曜日	4校時
授業のねらい・内容・方法							
熱帯地の環境とヒトと微生物の関係を理解し、熱帯病に対してどのようにアプローチするかを考える。講義では、熱帯地の自然環境と人々の生活、病原体微生物と生息する媒介昆虫、その感染症、感染症に対する生体の防御機構、感染症対策についての概説と討論を行う、							
テキスト、教材等							
特にテキストは用いず、必要に応じプリントを配布するとともに視覚聴覚教材も活用する。							
対象学生	成績評価の方法			教員研究室			
全学部	課題レポートまたはテスト、出席状況を考慮して評価する。						
授業計画							
<p>第1回：オリエンテーション 本科目の全体的な内容について説明，資料の配付，参考図書等の紹介を行う。</p> <p>第2回：熱帯地の生活と環境について。 熱帯地の自然、人々の生活、医療・保健事情等について解説する。</p> <p>第3回：熱帯医学研究所資料センター見学</p> <p>第4～6回：微生物に対する生体防御機構について。 細菌，ウイルス，寄生虫など多数の微生物が存在する中で，生体を構成しているさまざまな細胞がいかに協力し合って生体の恒常性を維持しているかについて解説する。</p> <p>第7～10回：微生物とその感染症について 細菌、ウイルス、寄生虫などの微生物のうち、熱帯地におけるヒトの感染症に関わる微生物の生物学的特徴とその感染症に関して解説する。</p> <p>第11～12回：感染症媒介動物について 熱帯地域における感染症媒介動物の概要、行動と生態、およびその防除について解説する。</p> <p>第13回：熱帯病に対する対策について。 保健医療と国際協力について、現状と問題点を概説する。</p> <p>第14回：まとめと熱帯病へのアプローチをテーマにした総合討論会。</p> <p>オフィスアワー（質問受付時間）： 時間は問いませんが、前もって連絡ください。メールでも結構です。</p> <p>上村（849-7837 <a href="mailto:uemura@net.nagasaki-u.ac.jp">uemura@net.nagasaki-u.ac.jp</a>） 栗林（849-7849 <a href="mailto:kurikuri@net.nagasaki-u.ac.jp">kurikuri@net.nagasaki-u.ac.jp</a>） 松山（849-7854 <a href="mailto:akikomats@net.nagasaki-u.ac.jp">akikomats@net.nagasaki-u.ac.jp</a>）</p>							